

2025 年度 3 学年進路通信 Vol.2

関東第一高等学校

校長 乙幡和弘

監修 進路指導部

5月26日(月)発行

Vol.1 では推薦入試の内容について具体例を交えて記載しました。今号では推薦入試における併願入試の戦略と推薦入試の受験料について掲載しています。なお、最新の入試要項がまだ公開されていないので、例として挙げているものは昨年の 2025 年度入試のものです。

○併願推薦入試における入試要項の記載パターン

大学推薦入試において、「併願可」としている大学は近年増加しています。入試要項の出願資格に目を通すと、専願か併願かがわかります。実際の入試要項の一部分を見ながら確認していきましょう。

① 「併願可」わかりやすく記載しているパターン

本学の「学校推薦型選抜(公募制)」や「総合型選抜(2段階選抜制)」、一般選抜、共通テスト利用入試等および他大学との併願が可能です

(東京都市大学 HP より引用)

東京都市大学のように、はっきりと「併願が可能」と記載している大学がほとんどです。自身が気になっている大学が専願か、併願可能か入試要項を見て確認しましょう。

② 「専願」か「併願可」か、わかりにくく記載しているパターン

総合型選抜	紙出願 選抜要項公開時期 6月中旬	総合型選抜	Web出願 選抜要項公開時期 7月下旬
総合型選抜(10月選考)		総合型選抜(11月選考)	
◎合格した場合は必ず入学することが条件です。		◎入学手続き後は必ず入学することが条件です。	

(神田外語大学入試要項より引用)

一見すると、10 月選考、11 月選考ともに専願のように見えます。しかし、文面をよくみると異なっている点があることに気づけたでしょうか？

10 月選考の文面は「合格した場合は必ず入学することが条件です」とあるので、専願入試です。受験をし、合格通知をもらった時点で神田外語大学へ入学しなければなりません。

一方、11 月選考の文面は「入学手続き後は必ず入学することが条件です」とあります。つまり、合格しても入学手続きをしなければ必ずしも入学する必要はない、と捉えることができます。よって併願可能な入試とわかります。他にも専願か併願か、判断に迷う文面にしている大学があるかもしれません。そのような迷いを生じさせるような入試要項を見かけた場合、また出願等で困ったことがある場合は、各大学の入試課に問い合わせてください。入試課に問い合わせたからといって入試で不利になるようなことはありません。以前、生徒のある特性(緘黙)が面接試験で不利にならないか問い合わせたことが過去にあります、無事に合格&進学しています。入試課の回答がもっとも正しい回答になるので、困った時は大学に問い合わせる、ということをしてしましょう。

③ 同じ大学内で学部によって専願・併願が異なるパターン

文学部＜総合型選抜Ⅰ期（文章読解型）入学試験＞

2. 出願資格

次の1～3のいずれかに該当し、本学文学部を第一志望とするもの

国際政治経済学部＜総合型選抜Ⅰ期（読解力総合型）入学試験＞

1. 入試の特徴および狙い（趣旨）

国際政治経済学部において今年度最初の入試です。他大学との併願が可能です。

（二松学舎大学入試要項より引用）

二松学舎大学では、文学部は専願、国際政治経済学部は併願、と学部によって専願入試か併願入試かが異なります。二松学舎大学の入試要項は文学部が先のページ、国際政治経済学部が後のページの構成になっています。仮に面倒くさがって、先のページに記載されている文学部の出願資格だけを見て、「国際政治経済学部もきっと専願か」などと判断してしまった場合は、国際政治経済学部の併願可能という文言を見過ごしてしまう可能性があります。大学の入試要項を見る際には、必ず自身が受験する学部・学科の出願資格を見て判断しましょう。

④ 同じ学科であっても出願要件によって専願か併願が変わるパターン

国際 教 養	言語文化	Aグループ 本学部の教育目的を十分理解し、2外国語の習得と幅広い国際的教養を身につけることに熱意を持っていることに加え、出願資格基準別表A(P.6)のうち、いずれか一つを満たしていること。 なお、Bグループに該当する資格を有する場合も、Aグループを選択して出願することも可。 (注) 出願資格の検定等の対象となる言語は出願者の母語にあたらないものとする。*
		Bグループ＜他大学推薦入試との併願可＞ 本学部の教育目的を十分理解し、2外国語の習得と幅広い国際的教養を身につけることに熱意を持っていることに加え、出願資格基準別表B(P.6)のうち、いずれか一つを満たしていること。 (注) 出願資格の検定等の対象となる言語は出願者の母語にあたらないものとする。*

（獨協大学 HP より引用）

獨協大学の自己推薦入試では A グループ(専願)、B グループ(併願可能)と分かれています。例に挙げている言語文化学科では英検スコア CSE2000 でAグループ、CSE2200 でBグループとなり併願可能となります。このように、検定試験や評定等の結果によって専願か併願が変わってくるところもありますので、英検の級取得も大切ですが、目指すべきスコアも知っておくと目標が定まり、より検定試験に向けた学習が捗るかもしれません。

○総合型選抜・公募制推薦において併願可能としている主な大学(2025 年度入試情報)

総合型選抜、公募制推薦入試など入試形態や学科によって専願 or 併願が変わってくる大学もあります。必ず最新の入試要項が公開されたら自身の目で確認しましょう。

亜細亜大学、大妻女子大学、学習院大学、神奈川大学、神田外語大学、共立女子大学、工学院大学、國學院大學、産業能率大学、実践女子大学、順天堂大学、昭和女子大学、成城大学、専修大学、千葉工業大学、中央大学、津田塾大学、東京女子大学、東京電機大学、東京都市大学、東京薬科大学、東邦大学、東洋大学、獨協大学、二松学舎大学、日本女子大学、文教大学、法政大学、星薬科大学、武蔵大学、明治大学、立教大学…etc

○併願推薦入試を受験する際の注意点

併願推薦入試を受験する際に、必ず家族で話し合ってもらいたい内容は受験費用に関することです。合格発表日や入学手続き締切日によっては、受験料のみならず入学手続き金(約 18 万円～約 26 万円程度)が発生する可能性があります。一般入試では受験料のみで約 35 万円～約 40 万円はかかるので、推薦入試であっても一般入試とほぼ同じくらいの費用がかかると考えてください。この入学手続き金を払う覚悟を持たずに専願入試のみ合格の受験はリスクが高すぎます。万が一合格をもらえなかった場合は、さらに一般入試で受験費用がかかり、受験生も精神的に追い詰められてしまうので、現行の入試システムにおいては必要経費だと考えてください。それでは、どのようにして費用が発生するのか、実際の受験例を見てみましょう。

① 入学手続き金が発生しなかったパターン 受験料 105,000 円

大学	入試形態	出願期日	試験日	発表日	結果	手続締切日
武蔵野大学経営学科	総合型併願	9/6	10/1	10/6	不合格	10/16
帝京大学経営学科	総合型併願	9/29	10/7	11/1	合格	11/15
日本大学商業学科	総合型専願	9/14	10/14	11/1	合格&進学	11/15

理想的な推薦入試のパターンではないでしょうか。併願校でしっかりと滑り止めを確保しつつ、第一志望の日本大学に進学を決められました。仮に武蔵野大学に合格していた場合には、武蔵野大学の入学手続き金(18 万円)が発生していたと考えられます。

② 入学手続き金は発生しなかったものの、受験料が発生したパターン 受験料 105,000 円

大学	入試形態	出願期日	試験日	発表日	結果	手続締切日
國學院大學外国語文化学科	公募制併願	10/6	11/12	11/22	合格&進学	11/29
神田外語大学中国言語学科	総合型併願	11/8	11/24	12/1	未受験	12/11
獨協大学言語文化学科	総合型専願	11/8	11/26	12/1	未受験	12/15

こちらも第一志望の大学に合格したパターンで、入学手続き金は発生していません。ただ、國學院大學の合格発表日が遅いため、不合格に備えて第二・第三志望の出願を終え、試験の準備までしていました。結果として第一志望の國學院大學に合格したので、他大学の受験は見送りましたが、第一志望不合格という状況に備えて、しっかりと保険をかけていたため受験料は発生しています。これも決して受験生にとって無駄なお金ではありません。

③ 日程が遅い入試が第一志望のため、総合型選抜で予め合格を確保するパターン

受験料 70,000 円+入学金 250,000 円=320,000 円

大学	入試形態	出願期日	試験日	発表日	結果	手続締切日
二松学舎大学国際政治経済学科	総合型併願	10/11	10/22	11/1	合格	11/10
専修大学国際経済学科	総合型専願	10/19	11/18	12/1	合格&進学	12/7

日程が遅い入試が第一志望の受験をする場合には、その前にどこかで合格をもらっておいた方が安心です。万が一専修大学不合格の場合でも、一般入試にチャレンジするか、二松学舎大学に進学するか選択肢が増えます。

④ 第一志望の合格発表日が併願校の手続き締切日より遅いために入学金が発生したパターン

受験料 105,000 円+昭和女子大学入学金 200,000 円=305,000 円

大学	入試形態	出願期日	試験日	発表日	結果	手続締切日
日本女子大学日本文学科	総合型併願	9/15	10/22	11/1	不合格	11/8
昭和女子大学日本文学科	公募制併願	11/10	11/26	12/1	合格	12/10
日本女子大学日本文学科	公募制専願	11/7	12/10	12/15	合格&進学	12/22

総合型選抜入試で日本女子大学に不合格となったため、公募制推薦入試で再挑戦しています。総合型選抜入試の合否発表から公募制推薦入試の出願期日まではわずかな日数しかないので、総合型選抜入試を終えた段階ですぐに公募制推薦入試の準備を進めることも合格を勝ち取るために大事な準備となります。上記の例では第一志望の合格発表日が遅いため、入学金が発生しています。ただ、第一志望校に不合格の場合には昭和女子大学への進学となるので、こちらら必要経費と考えられます。

⑤ 推薦入試がうまくいかずに一般選抜まで決まらなかったパターン

推薦入試受験料 105,000+一般入試受験料 272,000=377,000 円

大学	入試形態	結果	受験料	大学	入試形態	結果	受験料
武蔵野大学経営学科	総合型併願	不合格	35,000	杏林大学2学科併願	共通テスト	2合格	15,000
駒澤大学市場戦略学科	総合型専願	不合格	35,000	和洋女子大学日本文学文化学科	一般	合格	35,000
専修大学マーケティング学科	公募制専願	不合格	35,000	二松学舎大学国際政治経済学科	一般	不合格	35,000
嘉悦大学経営経済学科	特別奨学生	合格	無料	武蔵野大学経営学科	共テ併用	不合格	35,000
麗澤大学4学科併願	共通テスト	全合格	無料	学習院女子大学日本文化学科	一般	不合格	35,000
拓殖大学10学科併願	共通テスト	4合格	10,000	亜細亜大学経営学科	一般	不合格	32,000
大妻女子大学社会学専攻	共通テスト	合格	15,000	獨協大学3学科併願	一般	不合格	55,000
大妻女子大学日本文学科	共通テスト	不合格	5,000				

併願校をしっかりと選び、合格を確保しておかないと一般選抜までやり抜く必要があります。上記の例から、入学金1校分を支払った推薦入試の方が受験料を安く抑えられることがわかるかと思います。誰もがこのような受験になる可能性はあるので、推薦入試の受験を検討している生徒は、進路が決まるまで一般選抜へ向けた学習もおろそかにしないようにしましょう。

○卒業生の推薦入試における実際の併願例

薬学系	北里大学(専願)	不合格	星薬科大学(併願)	不合格	東邦大学(併願)	合格
国際系	武蔵大学(併願)	不合格	駒澤大学(専願)	合格	神田外語大学(併願)	未受験
日文系	清泉女子大学(併願)	合格	國學院大學(併願)	不合格	日本女子大学(併願)	合格
教育系	武蔵野大学(併願)	合格	文教大学(専願)	合格		
社会系	國學院大學(併願)	不合格	城西国際大学(併願)	合格	明治学院大学(専願)	合格
経営系	二松学舎大学(併願)	合格	東洋大学(併願)	合格	神田外語大学(専願)	未受験